

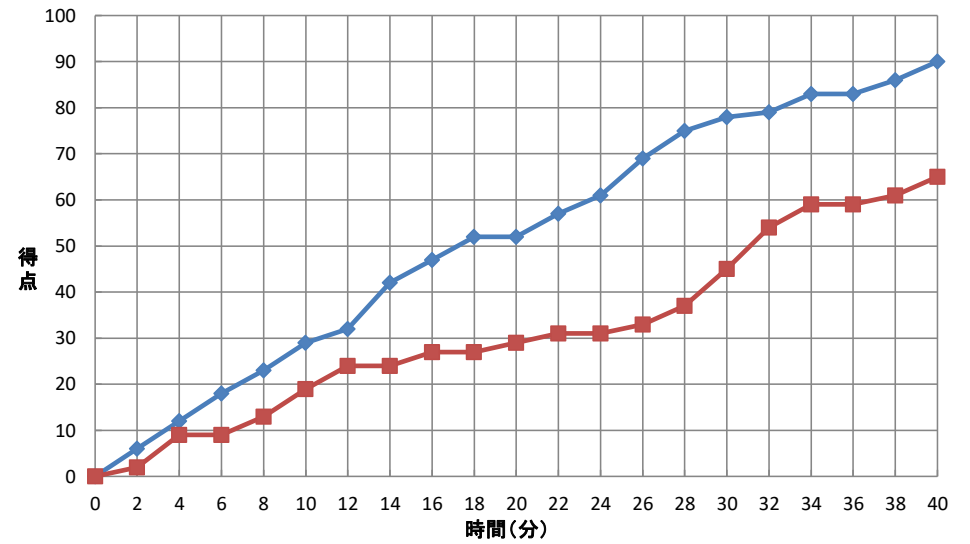


第71回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

女子		令和6年6月22日		15:20 開始													
準々決勝		和歌山ビックホエール		C													
◎ 京都両洋		90		65 近江兄弟社													
(京都)		<table border="1"> <tr><td>29</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>23</td><td>2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>26</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>12</td><td>4th</td><td>20</td></tr> </table>		29	1st	19	23	2nd	10	26	3rd	16	12	4th	20	(滋賀)	
29	1st	19															
23	2nd	10															
26	3rd	16															
12	4th	20															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
1	ユヌス カオサラ ボルツラフエ	4	0	2	0	0	4	東 琴羽	0	0	0	0	1				
* 2	杉山 心月	0	0	0	0	1	5	岸和田 夕柚	-	-	-	-	-				
3	森口 笑来美	-	-	-	-	-	6	大原 詩乃	4	0	2	0	1				
4	片山 志歩	0	0	0	0	0	7	福地 実桜	3	1	0	0	0				
5	高原 綾乙	1	0	0	1	0	8	西村 陽向	3	1	0	0	0				
* 7	木谷 夢菜	11	0	5	1	2	9	水町 風月芽	0	0	0	0	1				
* 8	谷口 心綾	8	0	4	0	0	* 10	久木 あすか	3	1	0	0	2				
* 9	岡田 彩葉	6	0	3	0	4	11	西田 理紗	1	0	0	1	1				
* 14	ピクトリア ウビ オコイ	25	0	11	3	0	* 12	澤井 柚奈	4	0	2	0	5				
17	大西 凜子	0	0	0	0	0	* 14	相馬 ほのか	7	1	2	0	1				
18	中野 有佳子	0	0	0	0	0	* 15	宮崎 璃心	18	5	1	1	1				
24	中島 芯	2	0	1	0	1	* 16	田中 あかり	20	0	8	4	1				
26	藤田 瑞木	3	0	1	1	2	18	坂元 穂花	0	0	0	0	0				
69	廣浦 杏	11	1	4	0	2	19	今石 紗弥加	0	0	0	0	1				
77	林 英美	19	0	9	1	4	22	川崎 侑里	2	0	1	0	0				
コーチ	吉田 聡						コーチ	平川 清士									
Aコーチ	甲良 泰明						Aコーチ	杉田 信也									
合計		90	1	40	7	16	合計		65	9	16	6	15				
クルーチーフ: 村田 尚美																	
アンパイア: 西川 恵輔 山本 長紀																	

得点経過



TO	1・2Q	3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	5:35	16:56	26:19	34:43	:	:	:

[戦 評]

[第1Q]
 京都両洋#2#7#8#9#14、近江兄弟社#10#12#14#15#16両チームマンツーマンでスタート。京都両洋は#14の高さを中心に得点を重ねる。近江兄弟社は中外バランスよく攻め試合を進める。29対19京都両洋リードで第1Qを終える。

[第2Q]
 京都両洋は継続して#14の高さを中心に攻める。近江兄弟社も#10の3Pシュートなど多彩な攻撃をみせる。しかし、残り6分、ターンオーバーからの失点、#14にゴール下のシュートを決められ流れが京都両洋に傾きかけたところで近江兄弟社がタイムアウト。その後も流れはかわらず52対29京都両洋リードで前半終了。

[第3Q]
 京都両洋は後半も徹底して#14のゴール下で攻める。近江兄弟社はシュートを放つもなかなか得点に結びつかない。その間にも、京都両洋は#7のバスケットボールカウント、#77の速攻などで得点を重ね点差を広げていく。78対45京都両洋リードで終了。

[第4Q]
 近江兄弟社はゾーンディフェンスに変更し勝負をかける。オフェンスでも#16のミドルシュート、#15の3Pシュートが決まり流れを作る。しかし、京都両洋も#69のドライブイン、#1のゴール下でやり直す。一進一退の攻防が展開されるが、逆転にはいたらず90対65で京都両洋が準決勝に駒を進めた。

戦評: 知念 恭平 記録: 那賀